

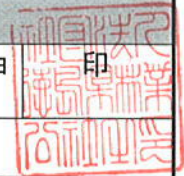
環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成22年10月19日

## オフセット・クレジット（J-VER）プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット（J-VER）制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 <sup>1</sup>			
徳島県林業公社社有林森林吸収プロジェクト ～公有林化を進める“とくしま絆の森”プロジェクト～			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	社団法人徳島県林業公社(シャダンホウジントクシマケンリングョウコウシャ)		
住所	徳島県徳島市南庄町5丁目69番地		
代表者氏名	飯泉嘉門	代表者役職	理事長
担当者氏名	竹内浩実	担当者 所属部署・役職	業務課・技術主任
担当者 E-mail	mail@forest-tokushima.or.jp	担当者電話番号	088-634-3155
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	木頭森林組合		
プロジェクト参加者名	徳島県		
オフセット・クレジット（J-VER）取得予定者			
事業者名(フリガナ)	社団法人徳島県林業公社(シャダンホウジントクシマケンリングョウコウシャ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 <input type="checkbox"/> その他( )である。		



<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□（排出削減技術）を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報<sup>2</sup>

プロジェクト概要	<p>【目的及び内容】</p> <p>1. 徳島県では、「誇り」と「豊かさ」を実感できる「21世紀のとくしまづくり」を進めるために策定した、今後の県政の運営指針「オンリーワンとくしま行動計画」において「未来を守るのとくしま森づくり」の施策として、「とくしま公有林化プロジェクト」を立ち上げた。2. 具体的には、徳島県林業公社が平成16年度に企業からの寄付金を受けて基金を創設(とくしま絆の森基金)し、整備されていない民有林を、「とくしま絆の森」として購入取得し、水源かん養など公益的機能の高度発揮を重視する「流域モデル林」を造成する間伐などの森林整備を進めると共に、森林ボランティアなど多様な担い手の参画による森づくり活動を進めている。3. 本プロジェクト対象事業地は、この「とくしま絆の森」で取得した森林である六丁目浦山と御朱印谷山を対象として持続的に管理経営するため、間伐が必要な人工林を適期に間伐し健全な森林を維持するとともに、活発な光合成による二酸化炭素の吸収を促進する。また、木材の搬出利用による二酸化炭素の固定と山村地域の雇用の創出、林業後継者の育成を図る。4. 間伐した森林の二酸化炭素吸収量について、オフセットクレジット(J-VER)を取得・販売し、その追加的資金を活用し、整備の遅れた民有林の取得、森林整備(間伐、搬出間伐)、作業道の整備、ボランティア活動等を更に進め、環境に配慮した森林経営のモデル林を造成していく。</p> <p>【適格性基準との整合性、法令遵守状況】</p> <p>ポジティブリストの番号は No. R.001 VER3.であり、プロジェクト対象地は、森林施業計画を那賀町に認定を受けており、森林法第5条に定めた森林である。この対象地は、非皆伐・長伐期施業で土地転用の計画はなく、プロジェクト期間内の主伐は計画されない。また、施業実施前に保安林内間伐届出書を県に提出し、許可を得ている。</p> <p>【採用技術】</p> <p>間伐面積の測定は、ポケットコンパス(牛方式半円高度分度付 S-28)と測量ロープを用いて計測し、樹高の測定は、パーテックス(VERTEX ハグレフ社)で計測した。胸高直径は、輪尺で計測した。</p> <p>【モニタリング方法】</p> <p>モニタリングポイントの選定は、六丁目浦山・御朱印谷山において下記のとおりとする。設置にあたっては、モニタリング方法ガイドラインに則す。六丁目浦山地区は、尾根部で区域(30ha以内)を二分割して、林相及び地形が標準的な位置ですぎ・ひのき別に合計4箇所のモニタリングプロットを設置する。御朱印谷山地区は、間伐の施業年度により、林相及び地形が標準的な位置ですぎ・ひのき別に合計3箇所のモニタリングプロットを設置する。</p> <p>【GHG算定式方法論への準拠性】</p> <p>GHG算定式の方法論に準拠する。</p> <p>【モニタリング体制】</p>
----------	---

<sup>2</sup> プロジェクト情報は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC体制等に関することを2ページ以内で記述してください。

	<p>吸収量測定者からのデータを基に担当者が算定し、その確認を業務課長が実施する。その責任者は、専務理事とする。また、内部の監査は総務課が行い、外部は徳島県の林業振興課が実施する。</p> <p>[QA/QC 体制]</p> <p>J - V E R の講習会及び説明会に積極的に参加し、知識の普及のための教育・訓練を社内で職員を対象に実施する。また、情報は、サーバー内にバックアップを作成し、そのデータを電子媒体及び紙面で保存する。モニタリングで取得したデータから算定された吸収量について、内部及び外部の監査を実施することで信頼性を確保する。モニタリングで使用する機器類は、使用前にキャリブレーションを実施し測定する。</p>							
プロジェクト実施場所	徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字六丁目日浦 5 9 徳島県那賀郡那賀町丈ヶ谷字六丁目日浦 6 0 徳島県那賀郡那賀町木頭折宇字御朱印谷山 1 - 1 徳島県那賀郡那賀町木頭折宇字御朱印谷山 1 - 2 徳島県那賀郡那賀町木頭折宇字御朱印谷山 1 - 5 徳島県那賀郡那賀町木頭折宇字御朱印谷山 4							
プロジェクト期間	2007 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日 (6 年 0 ヶ月)							
クレジット期間	2008 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日							
プロジェクト計画開始 届提出日	2010年9月3日							
妥当性確認終了日	2010年10月5日							
想定削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計	
	t-CO2	378	444	488	483	489	2,282	
適用実施規則	オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 ver.2.20							
適用モニタリング方法 ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン ( 森林管理プロジェクト用) ver. 1.70							
適用方法論	方法論番号	JRAM001					ver.3.00	
	方法論名称	森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)						
<b>ダブルカウントの防止措置</b>								
ダブルカウントの防止 の措置を講ずる事業 者	(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要) プロジェクト代表事業者と同一						印	
公的な報告・公表制 度 ( 判明している公 的制度)	該当なし							

自主的な報告・公表 対象(対象となるホー ムページ、環境報告 書等)	徳島県林業公社ホームページ
<b>備考欄</b>	

以上